

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

- 10月21日(火)~24日(金)の期間、柳師夫妻が日本牧会者セミナーに参加されます。
会場:横浜みなとみらいビジョンセンター
セミナーでの学びと交わりが豊かな恵みの時となり、主の導きと守りがありますようにお祈りください。
- 11月23日(日)本場キムチバザー&コンサートが行われます。主日礼拝は チャン・トンオク牧師が御言葉を取り次いでくださいます。礼拝後 午後2時から バザーとコンサートを行います。チラシとポスターが印刷されました。どうぞ、隣人やご家庭での広報・伝道のためにご活用ください。一枚一枚のチラシが福音の種として用いられる事を祈ります。
- 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんのがんに。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



「信仰とは何でしょうか」

ルカの福音書 17章5~10節

5 使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増し加えてください。」6 すると主は言われた。「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があれば、この桑の木に『根元から抜かれて、海の中に植われ』と言うなら、あなたがたに従います。…9 しもべが命じられたことをしたからといって、主人はそのしもべに感謝するでしょうか。10 同じようにあなたがたも、自分に命じられたことをすべて行ったら、『私たちは取るに足りないしもべです。なすべきことをしただけです』と言いなさい。」

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 高木はつ江(祈祷)

夕方賛美礼拝 柳澄香((賛美リーダ) 熊谷茂美(祈祷)

水曜礼拝 北原孝子(司会) 韓芽唯(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50~10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30~9:30
土曜日	PM 8:00~9:00

週報 2025-42号

2025.10.19

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

	AM 11:00~
信仰告白	賛美リード (使徒信条)
代表祈禱	松島スヤンティ
特別賛美	インマヌエル聖歌隊
聖書個所	ルカの福音書 17:5-10 (信仰とは何でしょうか？！)
メッセージ	柳承吉牧師
賛 美	神の家族
祝 祷	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード	韓芽唯
代表祈禱	北原明子
聖書個所	第一テサロニケ 5:21-28 (聖い生き方をしなさい。3)
メッセージ	柳 承吉牧師
主の祈り	

水曜礼拝

PM 7:00~

司 会	松島スヤンティ
代表祈禱	松島浩一
聖書個所	ローマ書 7:19-25
メッセージ	ローマ書 7 章の概略(8) 柳承吉牧師
主の祈り	

今週の御言葉

「信仰とは何でしょうか」

ルカの福音書 17 章 5~10 節

皆さん、信仰とは何でしょうか。
この問いに明確な一言で答えるのは決して簡単ではありません。なぜなら、信仰とは形のない生きたものだからです。

ヘブル人への手紙 11 章では、「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えない事実を確信させるものです」と記されています。しかしこれは、信仰全体を定義した言葉というよりも、信仰の一側面を語るための前提の言葉です。

実際、信仰は時と場合によってその姿を変えます。ある時はへりくだりとして、ある時は従順として現れます。また、誘惑の中で揺るがない勇気として、損失をいとわない愛の行動として、あるいは静かな微笑みや優しい言葉としても現れるのです。

今日の本文は、使徒たちが主イエスにこう願ったところから始まります。「私たちの信仰を増し加えてください。」(17:5)

なぜ彼らはそのように願ったのでしょうか。
直前の箇所で、イエスはこう語られました。「つまずきが起こるのは避けられませんが、つまずきをもたらす者はわざわいです。小さい者の一人をつまずかせるくらいなら、石うすを首に掛けられて海に投げ込まれる方がました。」(17:1-2) そしてこうも言われます。

「兄弟が罪を犯したなら、戒めなさい。そして悔い改

めるなら、赦しなさい。一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回あなたのところに来て『悔い改めます』と言うなら、赦しなさい。」(17:3-4)

考えてみてください。

人をつまずかせず、一日に七度も赦す。これは人間の力では到底できないことです。ですから弟子たちは正直にこう言ったのです。「主よ、私たちにはそんな力はありません。もっと大きな信仰をください。」

私たちも同じではないでしょうか。

「主よ、私は弱いです。もっと信仰をください。」そう祈る時、私たちは「今の自分ではできない」という正直な思いを主の前に告白しているのです。

しかし主の答えは、弟子たちが期待したものとは違いました。

「もしもあなたがたに、からし種ほどの信仰があれば、この桑の木に『根元から抜かれて、海の中に植われ』と言うなら、あなたがたに従います。」(17:6)

イエスは「もっと大きな信仰が必要だ」とは言われませんでした。

「からし種一粒の信仰で十分だ」と言われたのです。
からし種は当時、最も小さい種の一つでした。

しかしその中には“いのち”があります。小さくても、確かな生命力を持ち、成長し、やがて大きな木となり、鳥が巣を作るほどになるのです。

主はここで、「量ではなく、いのちだ」と教えられています。信仰が小さくても、それが生きているならば神の力を動かすのです。

生きた信仰とは何か?

来週に続く…